

第4学年 国語科学習指導案

2組 計25人 (男子10人, 女子15人)

指導者 横濱 智子

1 単元 調べたことをほう告しよう (教材「生活を見つめて」光村4年下)

2 単元について

(1) 単元の価値

本単元は、子どもたちが生活の中で疑問に思うことやよりよくしていきたいことについてテーマを決めて調べ、段落相互の関係等を工夫しながら報告書を書くことができるようにすることをねらいとしている。さらに、それらを基に、自分たちの生活を見つめ直したり、調べたことを伝え合ったりすることで、自分たちのこれからの生活に生かしていこうとする意欲を高めることもねらいとしている。

これまで子どもたちは、既習教材である「新聞記者になろう」、「グラフをもとに」、「これが『わたし』です」の学習を通して、報告文を作成するための取材活動の仕方や様々な調査方法について理解してきた。そこで本単元「生活を見つめて」では、これまでの学習経験を生かして、目的意識や相手意識を明確にしたテーマを選択し、取材方法、調査方法を工夫して得た情報を基に、報告書にまとめていくものである。また、その報告書を基に、意見や感想を交流し合い、自分たちの生活の実態や課題をはっきりと理解することで、今後の生活向上への意欲を喚起することへとつながっていく。

自分たちの生活のどこに目を向け、何を明らかにしたいのかという目的意識や、それを誰に伝えたいのかといった相手意識を明確にしなが生活を見つめ直したり、調べたことを伝え合ったりすることで、自分たちのこれからの生活に生かしていこうとする意欲を高めることもねらいとしている。

また、多様な調査方法の中から、相手や目的に合った方法を選択したり、読み手を意識した構成を工夫したりしながら報告書を書く活動を通して、自分の考えをより明確にしたり深めたりすることができる。

さらに、そのことが、子どもたち同士の、より積極的な意見の交流や話し合いの活動へとつながっていくものと考えられる。

(2) 単元の目標

【◎は単元の重点目標】

- 自分たちの生活を見つめ、その中での疑問点や問題点について調べたことを、進んで報告しようとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- ◎ 報告書を作成したり交流したりする活動を通して、自分と友達の考えを比べながら聞いたり、気付いたことについて、進んで話し合ったりすることができる。 【話す・聞く能力】
- ◎ 生活をよりよくするために調べたことが伝わるように、相手や目的に応じて段落構成を工夫しながら、報告書を書くことができる。 【書く能力】
- 報告書を読み比べたり、伝えようとしていることを読み取ったりすることができる。 【読む能力】
- 文章全体における段落の役割を理解することができる。 【言語についての知識・理解・技能】

(3) 児童の実態

本単元に関する学級の実態は以下のとおりである。

【調査人数25人 実施日9月21日 調査方法：質問紙法】

- ① 自分が不思議に思うことや、詳しく知りたいことなどについて調べることは好きですか。
とても好き (12), まあまあ好き (10), あまり好きではない (2), きらい (1)
【理由】・ 知りたいことが分かった時、とてもうれしい。(心がすっきりする。)
・ 調べても見つけれないことがある時、嫌になる。(うまく探せないから。)

- ② 調べたことを分かりやすくまとめるとき、どんな方法を使うとよいと思いますか。
・ 新聞やパンフレットにまとめる。 ・ 図と文でまとめる。 ・ 短い文にまとめて書く。
・ 種類ごとに分けてまとめる。 ・ 文字の大きさや色を工夫する。 ・ 図書室で調べる。
・ 本やパソコンで調べてまとめる。 ・ 友達と話し合う。

- ③ 自分の生活をよりよくするために、あなたが調べてみたいことを自由に書きましょう。
 ・体力作り ・交通安全 ・食事 ・テレビの見方 ・言葉遣い ・節約
 ・環境問題 ・手伝い ・休日の過ごし方 ・友達 ・健康 ・早寝、早起き
- ④ 自分が調べたことを、書いてまとめることは好きですか。
 とても好き (9), まあまあ好き (10), あまり好きではない (4), きれい (2)
- ⑤ 友達と話し合うことは好きですか。
 とても好き (16), まあまあ好き (7), あまり好きではない (2), きれい (0)
- ⑥ 友達と話し合うことのいい点はどんなことですか。
 ・いろいろな意見が聞けて楽しい。(友達の思いが分かる。) ・分からなかったことが分かる。
 ・友達の考えと比べられる。 ・みんなが納得できる。(分かり合える。) ・友達が聞いてくれる。

本単元に関する子どもたちの実態としては、一学期の「ツバメがすむ町」の学習を通して、調査したことの目的、方法、結果、考えられることなどははっきりさせて書く活動に意欲的に取り組み、まとめることのよさや楽しさを味わうことができている。また、「新聞記者になろう」の学習を通して、書こうとすることの中心を明確にしながらいたり、新聞に取り上げる話題を選び、観点を決めて取材する方法について学んだりする中で、新聞が出来上がるまでの過程を学びながら、友達と協力して新聞を書く活動に取り組むことができている。しかしその一方で、目的がはっきりしないまま書いていたり、書いている途中で、書きたいことの中心からずれてしまったりして、書いてまとめることの楽しさやよさを味わえずにいる子どももみられる。

自分が不思議に思うことや知りたいことを調べてみたいという意欲はとても高いので、調べたり、書いてまとめたりするときの視点をはっきりさせながら計画的に活動を進めていくことによって、どの子どもたちも書いてまとめることのよさや楽しさを味わうことができるものと考えられる。

また、友達と話し合って意見を出し合ったり考えたりする活動については、いろいろな意見を聞いたり、友達の考えと比較できたり、分からなかったことに気付いたりできるから好きだと答えている子どもが多い。本単元では、子どもたちのその思いを大切に、書く活動の中に、友達との話合いの場を多く取り入れながら、お互いのよさを生かし、書く活動がさらに深まるようにする。また、書いた報告書を互いに交流し話し合うことで、様々な角度から自分たちの生活を見つめることができるようにする。

3 本単元で高めたい「話すこと・聞くこと」の領域における「学び方」

- 話の中心に気を付けて聞くこと

ア 自分の経験や考えと比較しながら聞き、感想をもつ。

- グループで話し合うこと

イ 互いの意見の相違点や共通点を考えながら話し合う。

ウ 相手意識、目的意識をもって話し合う。

4 指導に当たって

本単元の指導に当たっては、以下のような点に重点を置いて指導していきたい。

「つかむ」過程では、自分たちの生活について話し合い、身近な課題をテーマとして設定することで、報告書作りへの意欲を高めることができるようにする。

「深める」過程では、テーマについて追究計画を立て、それを基にアンケートやインタビューを行い、調べたことを表やグラフを用いながら分かりやすくまとめて報告書に書くという活動を通して「誰に向かって、何のために報告する」のか常に意識し、テーマに対する自分の考えを更に深めることができるようにする。

「味わう・高める」過程では、調査結果や報告書の下書きを基に、グループで「報告書編集会議」を行うことを通して、読み手に分かりやすいものになっているか、目的がはっきりしているか、段落相互の関係は工夫されているか等の視点で話し合い、完成や交流会への意欲を高めることができるようにする。

「まとめる・広げる」過程では、完成した報告書を学級で読み合いながら、お互いの報告書のよさについて考えることができるようにする。また、報告書を基に学級全体で話し合う活動を通して、自分たちの生活の実態を理解し、これからの生活によりよく生かしていくためにはどうしたらよいかについて話し合うことができるようにする。

5 指導計画 (全14時間)

※は、重点評価項目

過程	時間	主な学習活動	教師の指導	学び方	評価項目や評価方法
つかむ	2	1 自分たちの生活の疑問点や、問題点について話し合う。	○ 身の回りの生活への思いを尋ねた実態調査の結果を提示することで、身近な課題に着目し、自分の生活を具体的に振り返ることができるようにする。 【関・意・態】【話・聞】	アイ	○ 自分の身の回りの生活を振り返り、課題について進んで話し合うことができたか。(発表)
		2 話し合いを基に、自分たちの生活をよりよくするためのテーマを設定し、学習計画を立てる。	○ 話し合いの結果を基に、同じような課題をもった友達同士でグループを作ってテーマを設定することで、目的を明確にし、報告書作成への意欲を喚起できるようにする。【話・聞】	イウ	※ 目的をはっきりさせて、自分の調べたいテーマを選択することができたか。(発表) (ワークシート)
深める	8	4 テーマについて具体的な調査の内容や方法、分担等についてグループで話し合う。	○ 調査を進める時の視点を提示することで、目的意識や相手意識を明確にし、よりテーマに迫る調査を工夫できるようにする。【話・聞】	イウ	※ テーマについて、相手意識や目的意識をはっきりさせて、具体策を工夫することができたか。(発表)(ワークシート)
		5 アンケートやインタビュー等の方法で調査した結果を基に、整理の仕方やまとめ方について話し合う。 6 報告書の構成を話し合って構成メモを作り、メモを基に下書きする。	○ 図表やグラフなど、表し方に工夫の見られる資料や、参考にできる白書等を紹介することで、まとめ方のイメージをつかみ、報告書作成への意欲を高めることができるようにする。【書】【話・聞】 ○ 報告書の書き方の視点や手順を明確にし、提示することで、見通しをもった話し合いや、報告書作成ができるようにする。【書】【話・聞】	イウ	※ 調査したことを、より分かりやすい方法で、工夫してまとめることができたか。(ワークシート) ○ 報告書の書き方を理解することができたか。(自己/相互評価)
味高 わめ うる	3	7 報告書の下書きを基に、編集会議を行い、改善点や、工夫した方がよい点等についてグループで話し合う。 8 話し合ったことを生かし、報告書の仕上げをする。	○ 下書きを基に、気付いたことや感想等を付箋紙に書いて伝え合い、それを基に話し合うことで、話し合ったことを仕上げの活動に効果的に生かすことができるようにする。【読】【書】【話・聞】	イウ	※ 自分や友達の報告書の下書きを基に、改善点や、工夫した方がよい点等について進んで話し合い、仕上げの活動に生かすことができたか。(発表)(報告書)
ま 広 と げ め る	2 (本時 2/2)	9 互いの報告書を読み合い、気付いたことについて、視点をはっきりさせてメモをとりグループで話し合う。	○ 視点を明確に示したメモ用紙を用意することで、報告書を読む際の手掛かりにすることができるようにする。【読】【書】	ウ	※ 他のグループの報告書を読み、気付いたことを視点ごとにメモすることができたか。(メモ)
		10 報告書を基に自分たちの生活を振り返り、これからの生活によりよく生かしていくために話し合う。	○ 報告書から分かった実態を基に、生活を再度見つめ直すことで、実践への意欲を高めることができるようにする。【話・聞】	アイウ	※ 報告書を基に進んで話し合い、自分の生活を振り返ることができたか。(発表)

【関・意・態】…【国語への関心・意欲・態度】、【話・聞】…【話す・聞く能力】、【書】…【書く能力】、【読】…【読む能力】
【言】…【言語についての知識・理解・技能】

6 本時 (15/15)


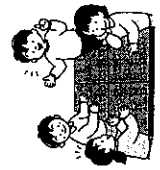
(1) 目標 報告書を読み合って気付いたことを基に、これからの生活によりよく生かすための話し合いに進んで参加し、自分なりの考えをもつことができる。

(2) 本時で高めたい「学び方」

相手意識や目的意識をもち、互いの意見の相違点や共通点を考えながら話し合う。

(3) 展開 教師の言葉掛け

◆重点評価項目と個に応じた指導

観念	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
つかむ (5)	<p>1 前時の学習を想起する。 前時では、完成した報告書の交流会をしましたね。他のグループの報告書を読んで、自分が気付いたことをメモしたり、グループで話し合ったりすることもできましたね。</p> <p>調べた結果と、結果から分かったことを区別してまとめたいと分かりやすかったですよ。</p> <p>君のまとめ方は、調査の結果がはつきり分かるように、表を工夫していた。</p> <p>本時の学習課題を確認する。 交流した報告書の気付いた点を伝え合い、これからの生活によりよく生かしていくためにみんなです話し合おう。</p> <p>話し合いの視点について確認する。 どんなことに目を向けて話し合えばいいかな。 目的の明確さ 調査方法の工夫や結果のまとめ方 報告書から感じたり考えたりしたこと</p> <p>段落の構成 調べたこと 今後に生かしていきたいこと</p> 	<p>○ 前時で自分が書いたメモを基に学習を想起することで、メモを生かして話し合う本時の活動への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ 視点をばきりさせて話し合うことで、互いの報告書の相違点、共通点に着目し、報告書を通して相手が伝えたいことをより明確につかむことができるようにする。</p> <p>○ 報告書を読み合って、気付いたことを基に、これからの生活によりよく生かすための話し合いに進んで参加し、自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>(発表、自己/相互評価カード) 【話す・聞く能力】</p> <p>◆ 前時で書いたメモを基に、進んで話し合いに参加している子ども → 発言のよさを称賛し、更にいるいるなる視点から発言できるように声をかけることで、これからの生活に生かしていきたい課題に迫ることができるようにする。</p> <p>◆ 前時で書いたメモを、話し合いに生かすことが難しい子ども → メモしたことなどがどの視点に関係するのかを教師や友達と一緒に考えることで、自分の気付いたことを整理し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 話し合いで積極的に参加できない子ども → 前時で気付いたことをメモに書くことが難しく、話し合いで積極的に参加できない子ども → 友達の書いたメモを基に、自分と同じ考えや気づきはなかったか教師と一緒に考えた後、視点を確認し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p>
深める (27)	<p>4 前時の交流会で書いたメモを基に、各グループの報告書について気付いたこと、感じたことを視点にそって話し合え、なぜその調査をしたのか、読んでいる人によく伝わってきたよ。</p> <p>○ ○ ○ グループは、調べた結果と、結果から考えたことがはつきり書かれていた点がいいな。</p> <p>テレビを見る時間は、健康とも関わっているので、工夫していこうと思った。</p>  <p>○ ○ ○ さんのアンケート結果のまとめは、棒グラフを使うと、変化がもっと分かりやすかったと思うな。</p> <p>○ ○ ○ グループの報告書を読んだ、自分の生活と似ている結果があった。気を付けたいなと感じた。</p>	<p>○ 報告書を読み合って、気付いたことを基に、これからの生活によりよく生かすための話し合いに進んで参加し、自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>(発表、自己/相互評価カード) 【話す・聞く能力】</p> <p>◆ 前時で書いたメモを基に、進んで話し合いに参加している子ども → 発言のよさを称賛し、更にいるいるなる視点から発言できるように声をかけることで、これからの生活に生かしていきたい課題に迫ることができるようにする。</p> <p>◆ 前時で書いたメモを、話し合いに生かすことが難しい子ども → メモしたことなどがどの視点に関係するのかを教師や友達と一緒に考えることで、自分の気付いたことを整理し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 話し合いで積極的に参加できない子ども → 前時で気付いたことをメモに書くことが難しく、話し合いで積極的に参加できない子ども → 友達の書いたメモを基に、自分と同じ考えや気づきはなかったか教師と一緒に考えた後、視点を確認し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p>
味高め (8)	<p>5 今日の話合いについて振り返る。(自己評価、相互評価)</p> <p>ぼくの報告書で、友達がいろいろ考えてくれたうれしかったな。</p>	<p>○ ○ ○ さんの意見は、友達の報告書の工夫を分かりやすく伝えていたな。</p>
まとめ (5)	<p>6 これまでの学習を振り返り、調べて報告することのよさや、そのことを生活に生かしていくことのできるようにする。</p> <p>まとめ方を工夫して、友達に分かりやすく伝えることができてよかったな。</p>	<p>○ 報告書を読み合って、気付いたことを基に、これからの生活によりよく生かすための話し合いに進んで参加し、自分なりの考えをもつことができる。</p> <p>(発表、自己/相互評価カード) 【話す・聞く能力】</p> <p>◆ 前時で書いたメモを基に、進んで話し合いに参加している子ども → 発言のよさを称賛し、更にいるいるなる視点から発言できるように声をかけることで、これからの生活に生かしていきたい課題に迫ることができるようにする。</p> <p>◆ 前時で書いたメモを、話し合いに生かすことが難しい子ども → メモしたことなどがどの視点に関係するのかを教師や友達と一緒に考えることで、自分の気付いたことを整理し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>◆ 話し合いで積極的に参加できない子ども → 前時で気付いたことをメモに書くことが難しく、話し合いで積極的に参加できない子ども → 友達の書いたメモを基に、自分と同じ考えや気づきはなかったか教師と一緒に考えた後、視点を確認し、発言への意欲を高めることができるようにする。</p>